

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報と職業		
英文授業科目名	Information and Vocation		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	山口 定夫		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>「主題および達成目標」</p> <p>(a)主題 高等学校普通科「情報」の新設に伴い、従来から専門学校の専門教科「工業」の必修科目であった「職業指導」は、2000年に改定された高校教員免許法で新設された「情報」の施行規則では、「情報と職業」に代わっている。 「職業指導」が高校を卒業して就職する生徒への進路指導力の育成が主眼であったが、「情報と職業」は、指導の立場の教師と指導される立場の高校生の両面での情報化社会への適応力の育成を目指している。</p> <p>(b)達成目標 教職を目指す学生が、高校生に対して、広い視野で、国内外の情勢や科学技術に興味を抱いて情報化社会に参加できるように指導すると共に、自らも日進月歩の現実の情報化社会にあって、社会情勢・動向や科学技術の現状を認識して的確に判断・行動ができるように、ITに関連した職業を中心としたトピックスで学習する</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

電気通信大学 平成20年度シラバス

【教科書等】

岡本敏雄・小館香椎子監修 近藤勲編著 情報教育シリーズ「情報と職業」(丸善株式会社)

【授業内容とその進め方】

a) 授業内容

この授業では、情報化社会への適応を目指して、情報化社会を取り巻く様々な話題について授業を行う。

- 第1回： イントロダクションとして情報化社会と職業について
- 第2回： 職業指導、職業選択・雇用制度
- 第3～4回： 情報化社会における生活
- 第5回： 情報化社会と高等教育
- 第6～8回： 情報化と社会の改革
- 第9～10回： 情報技術と人材育成
- 第11回： 情報産業と国際化
- 第12回： 経営情報システム/コンピュータシステムの投資効果/システム監査
- 第13回： 情報技術とメディアの利用/情報モラルと情報利用に関する留意点
- 第14回： 予備(授業アンケートetc.)
- 第15回： 期末試験

(b) 授業の進め方

授業内容に沿って、教科書を参考にしながら進めていくが、教科書に無いトピックスや、情報化社会に関連した最近の話題・動向などは、必要に応じて、授業の都度、簡易印刷などのレジメ・テキストを配布する予定。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

期末試験(テキスト、参考書などの持ち込み不可)を中心(70%程度)に、出席状況・発言・質問・授業態度(・必要に応じて課題レポートの提出含む)(30%程度)を基準に、総合的に評価する。

(b) 評価基準

- (1) 情報化社会における職業の特徴・特性を、利用者・運用者・開発者のそれぞれの立場で、情報倫理を含めて、基本的に理解していること。
- (2) 出席状況については、授業回数の2/3以上の出席を原則とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。
毎回の授業終了後に受け付ける。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【学生へのメッセージ】
なし

【その他】
なし